

話し合いは進まず

水俣病
紛争

調停案の作成難航

最終段階に入った水俣病紛争調停委員会は、十五日午後一時から知事公舎で緊急委員会をひらき、調停案作成のための協議を深夜までつづけた。しかし新日鐵水俣工場側からの大幅な譲歩は十五日まではみられず、調停案作成をめぐる委員会の話し合いはかなり難航したようである。

森水商工水産部長が十五日午後詰ったところによると、十四日の寺本知事・千原事務会談では、話し合いの内容に大きな進展はなかった。このため寺本知事は不祥事態の発生することも予想し、十五日緊急委員会（秘密会）を招集したといわれる。

この日の委員会には寺本知事、

岩尾県議会議長、河津県町村会
長、中村水俣市長、伊豆熊日常
任顧問の五委員と川瀬福岡通産
局長が出席した。

知事から県漁連、新日鐵双方に対
する説得工作の経過を報告、委員
会はこの報告にもとづいて現状を
分析し、同時にこの日も双方を別
個に呼んで意見をきいた。また、
十五日の世良熊大医学部長の談話
（無機水銀が有機化する経過がわ
かったというもの）が調停にどの
ような影響をもつかなどについて
も検討を加えたといわれる。

委員会としては県漁連の強い要
望もあり、調停案の作成を急ぎ
たい意向だが、会社側の態度が
まだ固い現在の段階で、どのよ
うな案を作成すべきかについて
協議したが、協議の内容につい
ては何ら発表されなかった。な
お委員会は場合によっては十六
日もひらかれる。